

葉山町地球温暖化対策実行計画の改定

▼現行計画

計画期間	2019年度～2023年度
計画の範囲	葉山町の本庁舎及び出先機関で行うすべての事務事業 (下水処理、町立学校等の諸施設を含む)
対象となる温室効果ガス	二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素
目標	2023年度において2017年度の排出量を維持する

▼事務事業編 改定予定

地方公共団体の施設・事業からの排出、すなわち事業者としての地方公共団体の温室効果ガスの「排出量の削減」及び「吸収作用の保全及び強化」のための措置に関する計画。

▼区域施策編 新規策定予定

地方公共団体の区域内の排出、すなわち住民・事業者も含む排出削減計画。

公共施設への太陽光発電設備設置に向けた屋上防水改修

▼役場庁舎



▼教育総合センター



公共施設における再生可能エネルギー由来電力への切替

主要な公共施設において、令和5年度中に切替を予定。



葉山町再生可能エネルギーシステム等設置補助金

対象システム	補助金額	近年の実績		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
住宅用太陽光発電システム	1キロワットあたり 1.5万円 (上限5万円)	6件	10件	16件
家庭用燃料電池システム (エネファーム)	5万円	2件	5件	2件
定置用リチウムイオン蓄電システム	5万円	11件	19件	15件



▶町HP「再生可能エネルギーシステム等設置補助金」



葉山町電気自動車購入費補助金

対象車両	補助金額	近年の実績		
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
電気自動車	5万円	3件	3件	12件



▶町HP「電気自動車購入費補助金」



はやまエシカルパートナー（はやまエシカルアクション）



「はやまエシカルアクション」

葉山町がSDGs目標達成のために町民や事業者と連携・協働して推進している「はやまクリーンプログラム」の第三弾として、令和4年6月1日より町内のエシカルアクション（自然環境・人や社会・地域を思いやった行動）を、産官民連携で推進しているプロジェクトです。

▼はやまエシカルパートナーとは

「はやまエシカルアクション」の賛同事業者のうち、町のパートナーとして主体的に「はやまエシカルアクション」を実践し、地域課題の解決やエシカルアクションの普及啓発に取り組む意欲のある賛同事業者のこと。

▼パートナーになると

- ・パートナー間ネットワーク作りのを支援するため、町が主催するオフ会へ招待。
- ・ロゴの使用が可能。
- ・町ホームページでの活動プロフィール公開や町SNSでの紹介等、広報支援。
- ・町や複数事業者と連携して行われる「はやまエシカルアクション」関連イベントにおいて、会場や物品を提供。

▶町HP「はやまエシカルアクション」



ゼロカーボン通信

▼ゼロカーボン通信とは

葉山町が目指す脱炭素社会の実現に向けて、町民の皆様や事業者にわかりやすい情報を発信する広報紙。公共施設や広報紙に掲示・掲載。

はやま気候非常事態宣言
ゼロカーボン通信
Action 1 交通編

「ゼロカーボン通信」では、地球温暖化の原因とされる温室効果ガス（主にCO₂）の排出を抑えるために私たちがどんな「アクション」ができるか一緒に学んでいきましょう。

▶バックナンバーはこちら

■ **いま改めて自動車、歩きを考えてみる**
家庭からのCO₂排出量の約1/4は自動車によるものです。自転車や公共交通機関などの利用を増やすことで、あなたが排出するCO₂を大きく減らすことができます。

■ **「ふんわりアクセル」でエコドライブ**
自動車を使うときに工夫できることもあります。発進するときは、穏やかにアクセルを踏みましょう。**5秒かけて時速20km**に達するのが目安です。10%程度燃費が改善します。

▶そのほかのエコドライブのコツはこちら

■ **エコカーに買い替えも検討**
ガソリン車から電気自動車に乗り換えることでもCO₂を大きく削減できます。町では**電気自動車の購入にあたって補助金を交付**しています。ぜひご活用ください。

▶補助金の詳細はこちら

問合せ 環境課 ☎内線452

はやま気候非常事態宣言
ゼロカーボン通信
Action 2 ファッション編

服の68%が「ごみ」として廃棄されています。そのうち、14%は売却されています。

▼サステナブルなファッションをもっと詳しく知るはこちら

■ **選択を!**
配慮された服を選ぶ
ために品質を選ぶ
リペアで大切に着る
さがりで着まわす

問合せ 環境課 ☎内線452

はやま気候非常事態宣言
ゼロカーボン通信
Action 3 食べ物編

■ **冷蔵庫に詰め込まない**
冷蔵庫に食べ物を詰め込んでいませんか？ 冷蔵庫をいっぱいになると、冷気が循環しにくく冷蔵効率が下がり電力消費も大きくなります。また、食品ロスは、廃棄する際だけでなく生産や流通時に発生したコストやCO₂も無駄になります。食べきれない量だけ買うことが地球温暖化防止に繋がります。

■ **国産食材を選択**
日本はカロリーベースで約60%を輸入食品で賄っています。しかし、輸送時には多くのCO₂が排出されています。国産、地場産、旬の食材を選択することで、CO₂排出を抑えることができます。

▶もっと知りたい方は

問合せ 環境課 ☎内線452

はやま気候非常事態宣言
ゼロカーボン通信
Action 4 製品・サービス編

■ **環境ラベルで選ぶ**
環境ラベルは、製品やサービスがどのように環境負荷低減に繋がるかを示したマークや目印です。価格や品質だけでなく、環境ラベルによりリサイクルのしやすさや環境への負荷を考えて製品やサービスを選択することは、温室効果ガスの抑制につながります。

環境ラベルの一例

① **カーボン・ニュートラルラベル**
信頼性の高いカーボン・ニュートラルの取組みを認証するラベル。

② **グリーン・エコラベル・ジャパン**
資源と生態系の保全に取り組む漁業を認証するラベル。

③ **ライフ環境ラベル**
製造、使用、廃棄時の環境負荷を定量的に示すラベル。

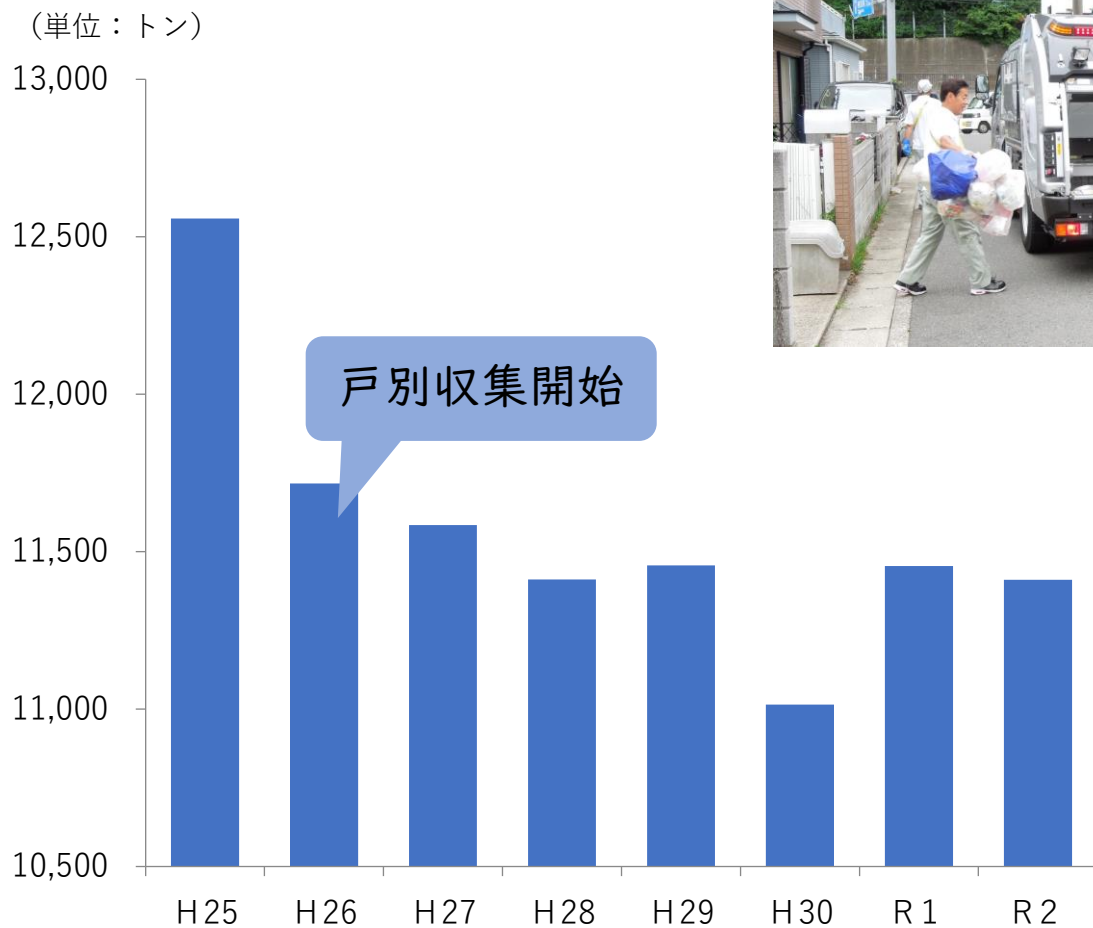
問合せ 環境課 ☎内線452

▶町HP「ゼロカーボン通信」



戸別収集・資源ステーション収集、生ごみ処理容器の販売促進

▼葉山町のごみ量推移



▼戸別収集・資源ステーション収集



▼生ごみ処理容器



葉山町の多様な主体が連携した海の森づくり活動 葉山アマモ協議会

(葉山町漁業協同組合・葉山町立一色小学校・ダイビングショップナナ・鹿島建設(株))

プロジェクトの概要

葉山海域では、ここ数年間で藻場の衰退が急速に進行しました。葉山アマモ協議会では、地域連携による積極的な藻場再生活動を通じ、教育、地域経済、脱炭素へつながる循環的な取り組みを実践しています。

対象

ワカメ場、カジメ場、海藻養殖

計46.6 t -CO₂/年

特徴・アピールポイント

ブルーカーボン創出による地域循環効果

- ✓ 海藻を殖やす新技術を導入しています！
- ✓ 養殖による新たなブルーカーボンの創出！
- ✓ 学校を核とした教育活動への展開！
- ✓ 朝市など経済効果も生み出します！



ブルカーボン創出による循環効果